

1. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

とても	48 (85.71 %)
まあまあ	7 (12.50 %)
少し	0
全然	0

2. 今日の実習内容の比率は適切ですか？

このぐらいの比率でちょうどいい	50 (89.29 %)
正常異常心音をもっと聞きたい	5 (8.93 %)
もっと症例検討の比率が多いほうがよい	0

3. 聴診で聞き分ける自信はつきましたか？

	I 音 II 音	II 音の 呼吸性 分裂	III 音	IV 音	大動脈弁 狭窄症	僧帽弁 閉鎖 不全症	大動脈弁 閉鎖 不全症	僧帽弁 狭窄症	動脈管 開存症
自信 あり	21 (37.50 %)	6 (10.71 %)	5 (8.93 %)	4 (7.14 %)	28 (50.00 %)	27 (48.21 %)	25 (44.64 %)	27 (48.21 %)	22 (39.29 %)
たぶん	30 (53.57 %)	19 (33.93 %)	29 (51.79 %)	29 (51.79 %)	24 (42.86 %)	24 (42.86 %)	27 (48.21 %)	22 (39.29 %)	25 (44.64 %)
自信 なし	5 (8.93 %)	31 (55.36 %)	22 (39.29 %)	23 (41.07 %)	3 (5.36 %)	5 (8.93 %)	4 (7.14 %)	6 (10.71 %)	9 (16.07 %)

4. 実習後の循環器内科に対する興味は？

非常に増	11 (19.64 %)
増	45 (80.36 %)
減	0
非常に減	0

5. 本日の実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすかったです。イチロウくんを使ってやれたのがとてもよかったです。</li> <li>・先生が丁寧に教えてくれたので、とてもよく分かりました。</li> <li>・音から病名を当てるのが楽しかった。</li> <li>・座学で学んだことと実技がリンクしてとても理解が深まって良かった。</li> <li>・クイズ形式も含めて聴診の勉強が出来て分かりやすかったです。</li> <li>・非常にわかりやすかったです。聴診のコツを復習することができてよかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に行った座学と身体手技が擦り合わせられました。</li> <li>・小テスト形式をとることで、実際の診察を想定して緊張感を持ち聴取しまとめることができたことで深い理解につながった。</li> <li>・講義と聴診の比率がちょうど良く、講義できちんと説明されていたので聴診でしっかり聞き取れました。とても身になりました。</li> <li>・今までは心雑音の種類を暗記するものしか考えていませんでしたが、病態と合わせて考えることですんなりと理解ができました。</li> </ul>
--	--

6. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識をしっかり身に付けたいです。聞き分けもしっかりできるようにしたいです。</li> <li>・もっと知識をしっかり入れて、何の疾患かすぐに分かるようになりたい。</li> <li>・実際の患者さんで聞き分けることが出来るかどうか分からないため、色々挑戦して自信をつけていければとおもいます。</li> <li>・もっと意欲的に取り組みたいと思います。</li> <li>・患者さんでもできるように頑張ります。</li> <li>・聴取した心音から、論理的に鑑別疾患をあげ頭の中でまとめられるようにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問診である程度疾患を絞りつつも、4カ所で聴診して複数の雑音がオーバーラップしていないかを判断できるようになりたいです。</li> <li>・AS、MSの聴診が出来るようになりたいです。</li> <li>・ひとまずI音とII音は確実に間違えずに聞き取れるようにしたい。それができれば弁膜症の聞き分けにも自身がつくと思う。</li> <li>・病態と絡めて心音について聴診できるようになること。</li> <li>・心音を、自信をもって聞き分けられるようにしたいです。</li> </ul> <p>これからも一所懸命に頑張りますので、ご指導とご鞭撻よろしくおねがいいたします。</p>
--	---

血液内科・循環器内科(CV) n=60

診療科内訳: 血液内科 30名 (50.00%)、循環器内科 30名 (50.00%)

1. 予習はしてきましたか？

全然	8 (13.33%)
少し	37 (61.67%)
十分に	15 (25.00%)

2. 実際に中心静脈穿刺手技を見たことがありますか？

はい	29 (48.33%)
いいえ	31 (51.67%)

3. 本日の自分は 100 点満点中何点でしたか？

最低	平均	最高
30	75.8474	100

4. 本実習の感想は？

非常に良い	43 (71.67%)
良い	17 (28.33%)
悪い	0
非常に悪い	0

5. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順を詳しく教えていただいて、非常にためになりました。</li> <li>・動画だけではわからなかった点も先生に教えていただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。</li> <li>・もっと予習していくべきだった。西本先生たくさん教えていただきありがとうございます。</li> <li>・デモンストレーションも含めて、注意点の解説を丁寧にしてくれて分かりやすかったです。</li> <li>・実際の CV を見てから受けたので理解は早かったと思います。</li> <li>・実際に一回やって頂いたあとに、させて頂いたのでわかりやすかったです。</li> <li>・見て、やって、見て、を繰り返すことで身についていくと切に感じられる。ここで身につけたものを忘れないために定期的の実施したいと考えています。</li> <li>・研修医として働くうえで最初の難関といわれているだけあって、複雑な手順であることを再認識しました。今後のことを考え、よく復習しておきたいと思います。</li> <li>・イトレと実技を何回も繰り返しながら慣れていくことの重要性を感じることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が丁寧に教えてくれたので非常にわかりやすくてできました。</li> <li>・講義して下さった先生、実習のサポートをして下さった SSC の皆様、ありがとうございました。私は CV 実習が 2 回目だったのですが、前よりも少し手際良く出来たかと思えます。</li> <li>・エコーガイド下で出来たのでとても楽しかった。</li> <li>・手順が多く難しいので、もっと練習したいと思いました。</li> <li>・実習ありがとうございます。今回の実習では、限られた時間の中でできるだけ実技ができてよかったです。より時間を使って反復練習が出来たらよかったですと思いました。</li> <li>・ステップが多く、ある程度予習をしても難しかったです。</li> <li>・実習ありがとうございました。少人数だったので先生に質問しやすく良かったです。事前学習動画が視聴できない状態だったのが少し残念です。</li> <li>・シミュレーターがポロポロだったので、きれいな状態でやりたいです</li> <li>・予習用の動画を用意してほしい。</li> </ul>
---	--

6. 実習後の血液内科・循環器内科に対する興味は？

非常に増	6 (10.00%)
増	52 (86.67%)
減	1 (1.67%)
非常に減	1 (1.67%)

7. 本実習で手技に対する「見る」姿勢を理解し、実践できましたか？

よくできた	29 (48.33%)
できた	31 (51.67%)
できなかった	0
忘れていた	0

8. 本日の実習でできるようになったこと(2 回目の場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔に注意しながら中心静脈穿刺を行うこと。空気を入れないなど刺すこと以外の注意する点にも気を配ること。</li> <li>・CV の清潔操作、声かけ</li> <li>・手順通りに清潔に気をつけて手技ができた。</li> <li>・CV の手順を覚えることができました。声かけはまだあまり出来なかったです。</li> <li>・準備を万端にすること、清潔を強く意識すること、手順を覚えたこと。</li> <li>・しっかり手技の注意点を覚えていた。</li> <li>・シリンジの向きをどうすべきか学べました。</li> <li>・中心静脈カテーテルという名前は何度も聞いたことがありましたが、実際の細かい手技を知ることができました。</li> <li>・手順とやっではいけないことがわかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技の流れを実際に見てイメージしやすくなった。</li> <li>・穿刺角度の目安を理解することができました。</li> <li>・中心静脈カテーテルの注意点が勉強できました。</li> <li>・ガイドワイヤーをスムーズに挿入すること。</li> <li>・エコー下での穿刺。</li> <li>・エコーを使用して経静脈からカテーテルを入れられるようになりました。</li> <li>・練習した時と比べて、試験穿刺、本穿刺ともにスムーズに血管にしっかり入れられた</li> <li>・手順を抜かすことなく、中心静脈カテーテルを留置することができた。前回よりも全体的にスムーズに行うことができた。一つ一つの手順の細かいところまで意識しながら行うことができた。</li> </ul>
--	--

9. 次回の実習(1 回目の場合)・今後の課題と目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのステップがなぜ必要なかを理解し、よりスムーズに手技を進められるようにする。</li> <li>・清潔操作をより意識して臨みたいですか。</li> <li>・声掛けまでしっかり出来るようになることです。</li> <li>・試験穿刺でスムーズに静脈を見つけられるようになること。</li> <li>・自信をもって行えるようになりたいです。</li> <li>・実際に行うときに、焦らないこと、丁寧に行うこと。</li> <li>・本穿刺で血管内に外筒をきちんと入れることが難しいと感じました。</li> <li>・スムーズに穿刺を行う。逆血確認のあとも針を適切に動かす。</li> <li>・反復練習をして、スムーズにできるようにしたいです。</li> <li>・流れを頭に馴染ませてから練習にのぞみたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手技中に止まらずにすること、不潔にさせないこと、目を術野から切らないこと。</li> <li>・より先を見据えて準備をする。</li> <li>・穿刺の角度に気をつける。</li> <li>・最後まで達成すること。</li> <li>・いちいち考えて止まることなく、スムーズに手技を行うこと。</li> <li>・次回の実習では、よりこの手順を正確、迅速に対応できるように練習していきたいと思います。</li> <li>・今後は見て学んだことを実際に的確に実践できるようにしていきたいです。</li> <li>・全体としての流れは覚えていたが、一つ一つの手順の中でシリンジの向きなどの技術が不完全だった。手順通りに行うだけでなく、一つ一つの手順も丁寧に行なって技術を向上したい。</li> </ul>
--	--

10. 2回目の実習の時のみお答えください。前回よりもレベルアップしましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルアップしました！ 前はメルクマール法の鎖骨下静脈でしたが、今回はエコーを使って内頸静脈でさせていただきました！ ありがとうございます。</li> <li>・レベルアップした。1 度やった事があるかどうかでだいぶ違った。</li> <li>・鎖骨下静脈でシミュレーションするのは初めてでしたが、内頸静脈よりも血管の走行をイメージするのが難しかったです。一連の流れとしてはレベルアップしていたと思います。</li> <li>・前回よりも、器具の扱いが上手に出来るようになったと思います。ありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回、ダイレーターの後ガーゼでの圧迫を忘れていたのですが、今回はしっかり行うことができました。</li> <li>・予習して臨んだが、実際やってみると手間取ることが多かった。とりあえず、一通りできたのでよかった。</li> <li>・前回と比較して全体的にスムーズに落ち着いて行うことができ、レベルアップしたと思う。</li> <li>・エコーを使ったこともあり前回よりやりやすかったのはあるが、前回よりも全体的な手順の流れを考えながら実施できた。</li> <li>・前回より、備品の準備をスムーズに行うことができました。</li> </ul>
--	---

呼吸器内科(聴診)【実習前】 n=95

1. 聴診で聞き分ける自信はありますか？

	fine-crackles	coarse-crackles	wheeze	rhonchi
たぶん	41 (43.16 %)	34 (35.79 %)	42 (44.21 %)	29 (30.53 %)
自信がある	8 (8.42 %)	6 (6.32 %)	13 (13.68 %)	6 (6.32 %)
自信がない	46 (48.42 %)	55 (57.89 %)	40 (42.11 %)	60 (63.16 %)

呼吸器内科(聴診)【実習後】 n=89

1. 本実習の感想は？

非常に良い	77 (86.52 %)
良い	12 (13.48%)
悪い	0
非常に悪い	0

2. 聴診で聞き分ける自信はつきましたか？

	fine-crackles	coarse-crackles	wheeze	rhonchi
たぶん	41 (46.07%)	42 (47.19 %)	9 (10.11%)	11 (12.36%)
自信がある	46 (51.69 %)	45 (50.56%)	77 (86.52%)	77 (86.52%)
自信がない	2 (2.25%)	2 (2.25%)	3 (3.37%)	1 (1.12%)

3. 今日の実習はこれからの回診で役立ちそうですか？

とても	84 (94.38%)
まあまあ	5 (5.62%)
あまり	0
全然	0

4. 本実習で改善すべきと思う点があれば、お聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。(多数)</li> <li>・実習ありがとうございました。改善点はありません。</li> <li>・色々自分で聞けたので楽しかった。</li> <li>・色々な呼吸音を聴けてよかったです！ありがとうございました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し自分で聴く時間が長くてよかったと思いました。</li> <li>・プリントの余白が狭かったので記入用の箇所が欲しかったです。</li> <li>・もう少し自分で聴く時間が長くてよかったと思いました</li> <li>・とても勉強になりました。ありがとうございました。</li> </ul>
---	--

5. 実習後の呼吸器内科に対する興味は？

非常に増	10 (11.24 %)
増	78 (87.64 %)
減	1 (1.12 %)
非常に減	0

6. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・fine-crackles と coarse-crackles の聞き分けをできるようにする。</li> <li>・どの部分からよく音が聞こえるかを意識してできるようにしたいと思う。</li> <li>・たくさん聴いて呼吸音を判別できるようにしたい。</li> <li>・実際の臨床で聞き取れるようになることです。</li> <li>・聴診をもっと良く出来るようになりたいです。</li> <li>・副雑音の場所、音、疾患をしっかり覚えて活用できるようになること。</li> <li>・症状や病歴と聴診所見を合わせて考えて、鑑別を挙げられるようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーターに聴診する時も副雑音の種類を間違えることがあったので、実際の患者さん相手に間違えることのないようにさらに理解を深める必要がある。</li> <li>・適切に聴診を行い、知識に基づいて異常音を見逃さない様にする。</li> <li>・呼吸音の正常と異常をしっかりと聞きわけることを、臨床現場でできるようにする。</li> <li>・雑音だけでなく正常音も聞き分けて、鑑別も思い浮かべられるようにする。</li> <li>・胸部と背部でしっかりと聞き分ける。</li> <li>・副雑音がある場合にも正確に聴取できるようになる。</li> </ul>
--	--

呼吸器内科(聴診)【回診後】 n=67

1. 回診で実際の患者さんから聴取できましたか？

	fine-crackles	coarse-crackles	wheeze	rhonchi
聴取できた	48 (71.64 %)	14 (20.90 %)	11 (16.42 %)	14 (20.90 %)
たぶん	9 (13.43 %)	9 (13.43 %)	2 (2.99 %)	2 (2.99 %)
機会なし	8 (11.94 %)	39 (58.21 %)	48 (71.64 %)	47 (70.15 %)
聴取できなかった	2 (2.99 %)	5 (7.46 %)	6 (8.96 %)	4 (5.97 %)

2. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。(多数)</li> <li>・間質性肺炎の患者さんの呼吸音を聞かせていただけて良かったです。</li> <li>・実際の患者さんから聞けてとても勉強になりました。</li> <li>・シミュレーターよりも患者さんの音の方が、聞こえやすく、感動しました。</li> <li>・患者さんの負担にならないようにすることと、学生が全員参加することを両立するために、学生が手技の注意点を把握しておく必要があると感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の種類だけではなく、場所やタイミングも呼吸音の聴診において大切だと分かりました。ありがとうございました。</li> <li>・まだまだ呼吸音の経験値が不足しているため、経験を積ませていただけるのはありがたかったです。</li> <li>患者次第で音の明瞭さは変わるので、やはりどのタイミングで聞こえるかに注意を払うことが大事と感じました。</li> <li>・もう少し自分で聴く時間が長くてよかったと思いました</li> <li>・とても勉強になりました。ありがとうございました。</li> </ul>
---	--

呼吸器内科(気管支鏡) n=37

1. 実際に気管支鏡検査を見たことがありますか？

はい	46 (65.71 %)
いいえ	23 (32.86 %)

2. 本日の気管支鏡実習の自己評価は 100 点満点中何点でしたか？

最低	平均	最高
30	83.1016	100

3. 気管支鏡実習の感想は？

非常に良い	64 (91.43 %)
良い	5 (7.14 %)
悪い	0
非常に悪い	0

4. 難しかったですか？

はい	39 (55.71 %)
いいえ	29 (41.43 %)

5. 4.「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺区域と気管支鏡の画像とマッチさせるのが難しかった。</li> <li>・上下左右のコントロールが難しい。行きたいところに行けない。</li> <li>・気管支挿管よりも管の自由度が低く、声門を通過するまでが難しかった。</li> <li>・解剖を意識しながら操作しなければ、前後左右に何が見えるか捉えられないところ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 番の気管支を見る時の手の角度。</li> <li>・解剖をしっかり理解していないとどこにファイバーを進めているのか分からなくなる。</li> <li>・カメラを思うように動かさず、ひっかけてしまうことが多く難しく感じました。</li> <li>・体ごと回っていました。</li> <li>・手首を使って操作するところ。</li> </ul>
--	--

6. 本日の実習でできるようになったこと、感想・要望は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管支鏡を使用する時がどんな時か分かった。気管支鏡の動かし方を学んだ。</li> <li>・気管支鏡で肺の区域がわかってよかったです。</li> <li>・前後、左右に進める感覚が掴めた。</li> <li>・実際に触ってみるという体験ができてよかったです。先に見学してしまったけど、見学した時には何も分からなかったの、実習してから見学のほうが得られるものが多かったかなと思いました。</li> <li>・気管支の解剖についてより理解を深めることができました。</li> <li>・肺の区域を覚える一助となりました。</li> <li>・気管支の枝の位置を覚えてなかったのが、今回再確認できて知識が深まった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺の区域を覚えきれていなかったが、だいぶ覚えられた気がする。気管支鏡をはじめ触ったが、結構難しく苦戦した。</li> <li>・実践的に解剖学的知識を交えて実習をさせていただき、大変興味深く学びになった。</li> <li>・手術などで気管支鏡の画面を見ることはあったが、どこで何が枝分かれているか分からなかった。実際に説明を受け操作することでどこを見たければどう操作すればいいかが大まかに掴めるようになりよかった。</li> <li>・肺の区域を覚えるのが苦手だったがイメージがつかえました。</li> <li>・気管支鏡の基本的な操作など、よく学べたと思います。ありがとうございました。</li> </ul>
--	--

7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管支鏡をもっとスムーズに動かせるようになること。肺区域を立体的に理解すること。</li> <li>・壁に触れずに上手に進めて患者の負担を軽減する。</li> <li>・どのようなときに何のために気管支鏡を行うのかを考えること。</li> <li>・手技に慣れること</li> <li>・気管支鏡の向きから見ている方向や見ている気管支を瞬時に判断できるようになりたい。</li> <li>・実際の患者さんに行う際にも区域や腫瘍箇所などしっかり理解できるようにすること。</li> <li>・経験をつんで、患者に対して低侵襲になるスムーズな取り回しが出来るようになりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査などで気管支鏡のモニターを見学する際に概観をイメージしながら見学する。</li> <li>・実際の患者さんをもっと難しいと思うので、さらに器用にならないといけないとおもいました。</li> <li>・見たいところを見に行く練習。のんびり動かすのではなく手早く。</li> <li>・それぞれの区画における好発疾患などを、しっかり覚えたいと思います。</li> <li>・実際の患者さんに対しても行えるよう、より解剖に対する理解を深める。</li> <li>・気管支鏡を用いた診断、治療についても知識を深める。</li> <li>・もっと素早く各区域みること。</li> </ul>
--	--

8. 実習後の呼吸器内科に対する興味は？

非常に増	13 (18.57 %)
増	56 (80.00 %)
減	0
非常に減	0

9. 気管支鏡実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	59 (84.29 %)
まあまあ	10 (14.29 %)
あまり	0
全然	0

10. 呼吸器内科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足しています、特にないです。(多数)</li> <li>・疾患に関する講義があればありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スパイロメーターの講義はありましたが、実際どのようにやっているのか見学してみたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗がん剤の講義。</li> <li>・気管支肺胞洗浄の見学。</li> <li>・緊急時の対応。</li> </ul>
---	--	---

呼吸器内科(吸引) n=56

	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
1. 手順に沿って実施できましたか？	42 (67.74%)	20 (32.26%)	0	0
2. チームメンバーと相談・協力しましたか？	38 (67.85 %)	16 (28.57 %)	2 (3.57 %)	0
3. 積極的に行動しましたか？	37 (59.68%)	23 (37.10%)	2 (3.23%)	1 (1.79%)

	思う	だいたいそう思う	あまり思わない	思わない
4. 吸引の知識は深まりましたか？	47 (75.81%)	15 (24.19%)	0	0
5. 吸引の手技は理解できましたか？	48 (77.42%)	14 (22.58%)	0	0
6. 吸引の手技は習得できましたか？	38 (61.29%)	24 (38.71%)	0	0
7. 吸引の手技に関して、自身の課題が見いだせましたか？	29 (46.77%)	32 (51.61%)	1 (1.61%)	0
8. 吸引の手技に関して、自信がもてましたか？	33 (53.23%)	28 (45.16%)	1 (1.61%)	0
9. 吸引実習はこれから役に立ちそうですか？	54 (87.10%)	7 (11.29%)	1 (1.61%)	0
10. 今後必要な状況があれば実践したいですか？	54 (87.10%)	8 (12.90%)	0	0

15. 吸引実習についての感想・要望などお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったです。吸引できて嬉しかったです。</li> <li>・実際に使える手技を体験できた点良かったです。</li> <li>・吸引について理解できた。</li> <li>・吸引は看護師が担当することが多く、今後教えてもらえる機会が少ないと思うので、教えてもらえてよかったです。</li> <li>・基本的な手技だけど、大切なものだと思うので今回学べてよかったです。</li> <li>・緊急時の吸引についてなど勉強になりました。</li> <li>・吸引の機会があまりないので、実習で実際に出来たのは良い機会でした。</li> <li>・さまざまなチューブを見たり、実際に人形に吸引できたりして、良い経験になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・痰を吸う音が良かったです。</li> <li>・短い時間でしたが、すごく身についたと思います。実際に行う機会は少ないかもしれませんが、いざとなったときにできるようにしたいです。</li> <li>・吸引の手技は見たことはありましたが、実際に自分でやるのは初めてでした。吸引の時間や吸引物の性状など、色々考えるべきことがあると分かりました。</li> <li>・たくさん褒めていただけて、楽しくできました。</li> <li>・今後機会があればしっかりと出来るようにしたいです</li> <li>・普段しっかりと勉強しない分野なので、しっかり学べてよかったです。</li> <li>・実践的な内容で、説明が分かりやすかった。</li> </ul>
--	--

小児科【実習前】 n=90

1. 小児診察に対するイメージを一言で表すと?

<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親との対話が大事。</li> <li>・暴れる。</li> <li>・泣かれる。</li> <li>・親と子どもの双方とのコミュニケーション。</li> <li>・誰に問診をとったらいかがが難しい印象。</li> <li>・大人の診察と違ってはっきりと症状を言えないことも多いので、診断に導くためにいろんな工夫をしなければならないイメージがある。</li> <li>・特有。大泉門や発育状況など小児特有の内容を問診診察する必要がある。・触って痛いなどの反応を確かめるのが難しそう!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の協力を得られない可能性が高い診察。</li> <li>・子供は動いたり、泣いたりするので、大人と同じように診察するのは難しいと考えます。</li> <li>・大人と比較して診察に非協力的な場合が多く、必要な情報を得るのが大変なイメージ。</li> <li>・意思疎通の問題で成人と比べてはっきりした所見が取りづらいイメージ。</li> <li>・小児に対しての身体診察のみではなく、保護者などの周りの人に対しての問診が重要になってくる。</li> <li>・子供なので的確に症状を伝えることが難しいかもしれない。</li> <li>・母からも子供からも話を聞かないといけない。生まれた時の異常も意識しないといけない。</li> </ul>
--	--

	2. 小児の問診をとる自信はありますか?	3. 小児の理学所見をとる自信はありますか?	4. こどもの急な発熱の後送の判断はできますか?	5. 今までに手背静脈採血を経験したことはありますか?
たぶん	20 (22.22%)	15 (16.66%)	10 (11.11%)	実際にある 39 (43.33%)
自信がある	1 (1.11%)	1 (1.11%)	0	見学はある 36 (40.00%)
自信がない	69 (76.66%)	74 (82.22%)	80 (88.88%)	全くない 15 (16.66%)

小児科【実習後】 n=94

	1. 小児の問診をとる自信はありますか?	2. 小児の理学所見をとる自信はありますか?	3. こどもの急な発熱の後送の判断はできますか?	4. 小児の手背静脈採血する自信は?
たぶん	57 (60.63%)	62 (65.95%)	56 (59.57%)	40 (42.55%)
自信がある	22 (23.40%)	11 (11.70%)	10 (10.63%)	41 (43.61%)
自信がない	13 (13.82%)	19 (20.21%)	26 (27.65%)	12 (12.76%)

5. 本実習の感想は?		6. 本実習の時間について		8. 実習後の小児科に対する興味は?	
非常に良い	54 (57.44%)	ちょうどいい	75 (79.78%)	非常に増	6 (6.38%)
良い	36 (38.29%)	短い	0	増	81 (86.17%)
悪い	0	長い	17 (18.08%)	減	6 (6.38%)
非常に悪い	1 (1.06%)			非常に減	0

7. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・採血を試験形式でやらなくても良いかと思いました。</li> <li>・元の予定が一時間と伝えていただいていたので、予定表を変更していただくと嬉しいです。</li> <li>・手が赤くなってしまったので、手袋を着用したかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採血の方法について学ぶための資料が欲しかったです。事前に渡される本のコピーを人数分欲しかったです。</li> <li>・小児患者に対する問診・診察において注意すべき点を事前にもっとしっかり準備して確認する機会が欲しかったです。</li> </ul>
---	--

9. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・病名を当てに行くのではなく、病態をしっかり捉えるという点に納得しました。post CC OSCE の練習としても、非常に勉強になりました。</li> <li>・問診をとるときにどんなことを意識していけば良いかということが具体的にわかった。病態、症状からどんなことを書けば良いかイメージが少ずついた。</li> <li>・OSCE の対策になるだけでなく、病態を見るという捉え方を学ぶことができ、実際の臨床に応用できる考え方だと感じた。非常に学びになった。</li> <li>・偏見持たずに診察することの重要性、子供特有の診察で気をつけるポイント(循環より呼吸に気をつける、脱水所見、ワクチン歴、出産歴、発達歴)など学べたのが良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児の発熱に対する問診の取り方について、とても勉強になった。病態の聞き方、評価の仕方、何について深く聞く必要があるのかなど、臨床実習前 OSCE で聞く内容だけでは足りないところが難しかった。</li> <li>・採血のミスや、問診での聞き漏らしなど、自分に欠けている点がよく分かる実習だった。</li> <li>・小児の診察は成人の診察に比べて自分の感情を表現できない点や協力が得られない点、鑑別疾患が特殊な点などで難しいと感じました。</li> <li>・とても実践的な実習で、小児の診察で重要となるポイントについて学ぶことができました。診察のあとに詳しくフィードバックもいただき、足りなかったところを明確にすることができたので、今後改善していこうと思います。</li> </ul>
--	---

10. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・症状から考えられる病態に対する理解、記憶が不十分なことを自覚したので、その辺りをもう一度勉強する必要があると感じました。</li> <li>・先生の間診をもっとみて、問診で聞くポイントをおさえる。身体所見の取り方を学ぶ。何を聞くべきなのかがまだ判断出来ていないので、病態の判断と今後の対応に繋げるために、何が大事なのか思考できるようにする。</li> <li>・問診の裏付けとなるような身体所見をとれるようになること。鑑別疾患を診断推論に基づいてもっと挙げられるようになること。</li> <li>・実習では小児の身体所見をとることがほとんどできなかったため、自主的に外来見学などを行い、先生方がどのようにされているか実際に見て学びたいと思いました。</li> <li>・問題を解くという意識にとらわれず、患者の状態はどうか、緊急性は、どういう病態なのかといった点を重視して問診を取りたい。</li> <li>・採血は固定をしっかりとし、針の挿入角度を、30度に保つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問診や診察で得られた事項を上級医に説明する際に、うまく要約できず必要な情報が抜け落ちてしまった。得られた情報の重要度を考えながら、抜けがなく要約できるようになりたい。</li> <li>・問診が苦手で、何を聞くべきか、鑑別疾患はなにかなど、様々なことを同時に考えることが苦手です。また、子供にありがちな疾患も全然わからないので、スムーズな問診からの身体診察ができるように勉強しなければならないと感じました。</li> <li>・聞き漏らしなく問診を取れるように復習する。問診で鑑別疾患を思い浮かべながら、身体診察を取れるようにする。</li> <li>・問診しなければいけない項目や診察、鑑別診断を考えながら、きちんと行っていくことが重要となるので、大事となる項目を忘れることなく問診・診察を行っていきたいと思いました。</li> <li>・適切に身体所見を取って、アセスメントを言えるようになる。</li> </ul>
---	--

11. 担当教官へ一言お願いします

<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしても疾患を当てにしていまいちなので、病態を広く捉える考え方がとても勉強になりました。また、どのように考えていくかの説明もわかりやすかったです。ありがとうございました。</li> <li>・診察後の対応も含めて、実際の診察に近い状態で、どう考えて動いたらいいかをより強く意識するきっかけになりました。</li> <li>・お忙しい中ご講義いただきありがとうございました。OSCEや小児採血と実践的な学習をさせていただき、まだまだできていないところを痛感すると共に、今後の勉学への向き合い方ももっと臨床を意識して取り組もうと意識改革にもなりました。ありがとうございました。</li> <li>・採血時の先生の暴れ方や身体診察時の模型がリアルに作動していて、とても良い経験になりました。問診と診察時には、小児の単なる発熱でも帰宅させて良いのか悪いのかを判断出来るように、ABCに着目して行っていきたいと思います。</li> <li>・本日はありがとうございました。採血の細かい注意点を知れてよかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児患者に対する問診・診察において注意すべき点を事前にもっとしっかり準備して確認する機会が欲しかったです。</li> <li>・実習ありがとうございました。採血の時に暴れる子どもの腕を再現してくださったので、本物の子供に接しているようでより緊張感をもって行うことができました。</li> <li>・すごく丁寧に熱心に指導していただきました。ありがとうございます。・小児科に限らず臨床現場における推論プロセスを実技通して体感できました。より医学の勉強をするモチベーションに繋がりました。お忙しい中ありがとうございました。</li> <li>・実際にシミュレーターを使用させていただき、より実践に近い形で、勉強できたので、非常に貴重な実習でした。ありがとうございました。</li> <li>・実習および講義、ありがとうございました。系統立てて説明して頂き、大変勉強になりました。これは今回のSSCでの実習には関係ありませんが、CCでの患者さんへのアンケートは、できれば指導教官からお渡し頂いた方が保護者の心象が良くなるのではないかと感じました。今後の実習班ではご一考いただけると幸いです。</li> </ul>
---	---

## 1. お産に対するイメージを一言で表すと？

・命懸け ・壮絶 ・神秘的 ・感動の瞬間	・しんどい ・痛い ・大変 ・患者の負担が大きい	・苦悶 ・難しくて大変であるけれど、とても達成感があり嬉しいことだと思います ・世の中の的には「生まれて当然」、医師的には「生まれさせるのも一苦労 ・責任が伴う
-------------------------------	-----------------------------------	---

## 2. お産を実際に見たことはありますか？

いいえ(0回)	23 (41.82 %)
1回	10 (18.18 %)
2~4回	18 (32.73 %)
5回以上	4 (7.27 %)

## 3. 本実習の感想は？

非常に良い	35 (63.64 %)
良い	20 (36.36 %)
悪い	0
非常に悪い	0

## 4. お産に対するイメージは変わりましたか？

はい	26 (47.27 %)
いいえ	29 (52.73 %)

## 5. 4で「はい」の方 どんな風になりましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳性麻痺など、医者1人の分娩の評価の失敗で子の将来が変わるという認識を得た。</li> <li>・命の危険と隣り合わせであることを痛感しました。</li> <li>・今まで健康であった妊婦がお産の中で突然病気になるって命を脅かすことの恐ろしさを知りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急のような判断の早さが必要なのだと感じた。</li> <li>・お母さんの大変さを直感的に感じる事ができた。</li> <li>・少し怖いイメージもついた。</li> <li>・様々な業種の方が携わって患者さんを支えている。</li> <li>・実際に見るとより感動的でした。</li> </ul>
---	--

## 6. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

かなり	41 (74.55 %)
まあまあ	14 (25.45 %)
あまり	0
全然	0

## 7. 実習後の産科に対する興味は？

非常に増	9 (16.36 %)
増	45 (81.82 %)
減	1 (1.82 %)
非常に減	0

## 8. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・産んでくれた母に感謝を伝えようと思います。</li> <li>・基礎的な知識がまだまだ不足しているので頑張ります</li> <li>・まだ分娩を見学したことがないので、実際に見てみたいです。また胎児の一過性徐脈や生まれた新生児の評価に関する勉強が甘かったのでやり直そうと思います。</li> <li>・ビショップスコアをつけられるようになりたい。</li> <li>・回旋の異常がどのようなものがあるかを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩について胎児側、母体側両方の観点から理解する。</li> <li>・アプガースコアなど、お産時に行われるスコアリングができるようになること。</li> <li>・患者さんに不安な気持ちをさせずにお産のお手伝いをできるようにまでなりたいです。</li> <li>・分娩を介助することがあれば落ち着いてする</li> <li>・基礎的な知識がまだまだ不足しているので頑張ります。</li> </ul>
--	--

## 9. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は本実習をマンツーマンでご指導いただいたのですが、先生の柔らかい雰囲気により緊張することもなく、とてもわかりやすく丁寧でした。私は産婦人科希望なのでこれからとても役に立つと思いました。</li> <li>・先生がとても詳しく教えて下さり、非常に学ぶことが多かった。座学では意識できていなかったことも理解でき、いい機会だった。</li> <li>・先生がわかりやすく教えてくれて丁寧に教えてくれて非常に産科に興味を湧きました。</li> <li>・臨床の現場に則した実習をして頂き、大変勉強になりました。座学でよく分からなかった内容もよく理解できました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療の目的を理解しないまま記憶しても実践的でないので、一連の診療の流れの中で必要なものを記憶する必要があると感じた。</li> <li>・とても楽しかったです。知識の抜けているところもよく自覚できました。ありがとうございました。</li> <li>・実際のお産では回旋までは見られなかったのですが、説明を受けながら分娩の流れを知れてよかったです。</li> <li>・bishop スコアの説明など、模型を通じた説明が非常にわかりやすかったです。</li> <li>・知識面の整理ができました。また実際の現場での対応なども聞くことができ、とても勉強になりました。</li> </ul>
--	--

消化器外科・形成外科(縫合) n=69

診療科内訳: 消化器外科 50 (72.46%) 形成外科 19 (27.54%)

1. 今まで縫合したことがありますか? 2. 本日の実習はどんなことをしましたか?

はい	61 (88.41%)	・真皮縫合	・単純縫合	・垂直マットレス縫合	・両手結び、片手結び
いいえ	8 (11.59%)	・表皮縫合	・埋没縫合	・水平マットレス縫合	・器具の持ち方から教わりました。

3. 本日の実習の感想は?

非常に良い	65 (94.20%)
良い	4 (5.80%)
悪い	0

4. 難しかったですか?

はい	37 (53.62%)
いいえ	32 (46.38%)

5. 4で「はい」の方 どのところが難しかったですか?

<ul style="list-style-type: none"> <li>・針の刺す角度及び針の出る場所の調整が特に難しかったです。</li> <li>・結び目を綺麗にすること。</li> <li>・糸のテンションのかけ方。</li> <li>・しっかり締めて結ぶのが難しかったです。</li> <li>・真皮縫合で高さを合わせるのが難しかったです。</li> <li>・結び目が細かいので、器用に扱うのが難しかったです。</li> <li>・真皮縫合の手の角度、針がどこから出てくるかの予想。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器具の持ち方が難しかったです。</li> <li>・器具の扱いがそもそも難しかったです。左利きだと少し扱いにくいと感じました。</li> <li>・手早く手技を行おうとすると細かいところでのミスが増える。</li> <li>・真皮縫合で表面に針先が出ないようにするのが難しかったです。</li> <li>・上手く真皮の層のみに針を通すのが少し難しかったです。</li> </ul>
--	--

6. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は?

<ul style="list-style-type: none"> <li>・真皮縫合までゆっくりなら多少できるようになりました</li> <li>・縫合を早くできるようになったことと、手での結紮もできるようになったこと。</li> <li>・縫合の基本的な動作をある程度できるようになりました</li> <li>・何度も繰り返し実習できたので、高さの目安など慣れてきたかなと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結びの固さのコントロールが出来るようになりました。</li> <li>・マットレス縫合の仕組みと運針の仕組みを知ることができた。</li> <li>・縫合の基礎、器具の細かい持ち方や動かし方を学びました。</li> <li>・針をうまくさせるようになった。スピードが上がった。</li> </ul>
---	---

7. 次回の実習・今後の課題・目標は?

<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとはやく縫合できるようになりたいです。</li> <li>・実臨床の場面でも緊張せず縫合をスムーズにできるようになりたい。</li> <li>・鉗子やせっしの取り回し、針の旋回半径のイメージがもっとうまくなりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復練習を行い、もっと早く縫合ができるようになりたい。</li> <li>・実践で使えるレベルの技能に近づく。</li> <li>・一発で出したいところに出せるようにしたいです!</li> <li>・結紮の強弱の付け方を覚える。</li> <li>・深さ、幅をもっと綺麗に揃える。</li> </ul>
--	---

8. もっと縫合の練習をしたいですか? 9. 8で「はい」の方 どんな縫合がしたいですか?

はい	56 (81.16%)	・短時間でも良いので回数を増やして欲しい。	・真皮縫合	・実際に人にしたい
いいえ	11 (15.94%)	・初期研修で最低限必要な縫合	・連続縫合	・実臨床で使う縫合

10. 2回目の実習の時のみお答えください。11. 実習後の各科に対する興味は? 12. 今日の実習は今後役に立ちそうですか? 前回よりもレベルアップしましたか?

はい	41 (59.42%)	非常に増	14 (20.29%)	とても	52 (75.36%)
いいえ	3 (4.35%)	増	45 (65.22%)	まあまあ	8 (11.59%)
下がった	0	減	1 (1.45%)	あまり	0
		非常に減	0	全然	0

13. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に教えてくださって、分かりやすかった</li> <li>・縫合について丁寧に一から教えてもらって、非常にわかりやすかったです。今回はありがとうございました。</li> <li>・外科の先生にフィードバックをいただくことができ、自信になりました。</li> <li>・先生がとても丁寧に教えて下さり、イメージもしやすかったです。</li> <li>・楽しかったです。定期的にやりたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に丁寧に優しく教えていただきました。ありがとうございます。</li> <li>・丁寧に教えて頂きありがとうございました。基本的なことについて学ぶことが少ないので、勉強になりました。</li> <li>・実習ありがとうございました。一人一人に丁寧に教えてくださり、短時間でかなり上達することができたと思います。</li> <li>・繰り返し長時間練習することができてよかった。</li> <li>・簡単なものから徐々に難しかったので学習しやすかったです。</li> </ul>
--	---

14. 本実習で改善すべき点があれば、お教えてください。

・特になし(多数) ・実際の手術現場をイメージした手技を行いたいです。 ・縫合の皮膚模型を新しくしてほしいです。

15. 消化器外科、形成外科で他にどんな実習を希望しますか？

・実際に縫合する。 ・実際の手術手技の参加。 ・実際の縫合のように、何ヶ所か連続で縫合する。 ・国家試験や初期研修で役立つ実習。 ・メスを使った植皮実習のシミュレーション。	・実際の手術に使う機械などの実習。 ・ロボットのシミュレーターを使った実習。 ・傷が残らない綺麗な縫い方を教えていただきたいです。 ・形成外科ではZの縫合してみたかったです。 ・神経縫合
--	---

消化器外科・肝胆膵外科・産婦人科・泌尿器科(鏡視下外科手技) n= 54

診療科内訳: 消化器外科 25 名(46.30 %)、肝胆膵外科 14 名(25.93 %)、産科 0 名、泌尿器科 15 名(27.78 %)

1. 担当医は熱心でしたか？

非常に熱心	28 (51.85 %)
熱心	25 (46.30 %)
熱心でない	1 (1.85 %)
全然	0

2. 指導は分かりやすかったですか？

非常にわかりやすい	32 (59.26 %)
わかりやすい	22 (40.74 %)
わかりにくい	0
非常にわかりにくい	0

3. 実習の進め方は？

非常に良い	31 (57.41 %)
良い	22 (40.74 %)
悪い	1 (1.85 %)
非常に悪い	0

4. 本実習の感想は？

非常に良い	33 (61.11 %)
良い	20 (37.04 %)
悪い	0
非常に悪い	0

5. 担当医の総合評価は 100 点満点中何点ですか？

最低	平均	最高
70	94.705	100

6. 本日の自分は 100 点満点中何点ですか？

最低	平均	最高
40	80.1	100

7. 本実習で改善すべき点があれば、お教えてください

- ・特になし。(多数)
- ・時間のない中だったのもう少しじっくりやりたい。
- ・より練習の時間を長くしてほしい。
- ・定期的であれば良いなと思いました。

8. 実習後の各科に対する興味は？

非常に増	6 (11.11 %)
増	46 (85.19 %)
減	1 (1.85 %)
非常に減	0

9. 本日の実習でできるようになったこと(2回目場合は前回よりできたこと)は？

- ・比較的。ループを早く作れるようになった。
- ・ゆっくりだが腹腔鏡下での結札ができるようになった。
- ・折り鶴ができた。
- ・腹腔鏡で模型に糸を縫う。
- ・次第に腹腔鏡で距離感がつかめるようになりました。
- ・両手をスムーズに使えました。

- ・内視鏡下での鉗子、鉏、持針器の使い方の基礎を学ぶことができた。
- ・腹腔鏡のデバイスを使って針を穴に通すことが出来た。
- ・ぎこちないが、扱えるようになった。
- ・持針器の扱い方が上手くなった。
- ・ラパロ上での動作に少し慣れた。

10. 次回の実習・今後の課題・目標は？

- ・より早く手技ができるようにする。
- ・もっと思い通りに扱えるようになりたいと思った。
- ・結び目が緩くなりがちだったので、テンションを意識して縫合したい。
- ・針と糸を使ったときにあまりうまく縫えなかった。針をうまく掴んで縫えるようになりたい。
- ・とにかく多く触って、手になじませたい。

- ・穴に紐を通すことも、縫合ももっとスムーズに行いたい。
- ・組織に優しくすることを意識したいです。
- ・縫合の時に、針と糸の操作が難しくてもイライラしない。
- ・針を適切な向きで持つのに時間がかかったので、次回は早くできるようにしたいです。
- ・もっと細かい作業もできるようになりたいです。
- ・縫合が出来るレベルまで持っていきたいです。

11. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

- ・特にありません。ありがとうございました。(多数)
- ・ポイントなど教えてくれて分かりやすかった。
- ・楽しかったです！何度も挑戦して上手になりたいです。
- ・神経をすり減らす作業でしたが、外科の先生たちがやっていることがどれほど凄いかが理解できた。
- ・組織を挫滅させずに行う難しさを感じました。

- ・本日はありがとうございました。いつも自主的に腹腔鏡の機械で遊んでいただけだったので、正しい使い方を教えてくださってとても勉強になりました。
- ・内視鏡下での道具の使い方の難しさを学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・元々興味があったので、自主練も行い上達したい。

12. 2回目の実習の時のみお答えください。前回よりもレベルアップしましたか？

かなりした	5 (9.26 %)
した	18 (33.33 %)
同じ	6 (11.11 %)
下がった	0

泌尿器科(持続的導尿) n=34

1. 実習中に持続的導尿を見学する機会がありましたか？

はい	30 (88.24 %)
いいえ	4 (11.76 %)

2. 実習中に持続的導尿を行う機会がありましたか？

はい	24 (70.59 %)
いいえ	10 (29.41 %)

3. 2で「はい」の方、どのような準備(自己学習)をされましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・OSCE の復習をした。</li> <li>・導尿の方法、禁忌について学びました。</li> <li>・臨床スターター実習の時の資料を復習した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTube など流れを確認しました。</li> <li>・手術の際にさせていただきました。</li> </ul>
---	--

4. 2で「はい」の方、シミュレーターでの実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	14 (41.18 %)
まあまあ	12 (35.29 %)
あまり	0
ぜんぜん	1 (2.94 %)

5. 2で「はい」の方、シミュレーターを使用してみて、何か新しい発見はありましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・バルーンは細いとテンションがかからないと学んだ。</li> <li>・男性の場合は尿道口を上に向けてと挿入しやすい。</li> <li>・ただ支えて持つだけでなく、すこしひっぱったほうが挿入しやすいということがわかりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前立腺肥大などでカテーテルが入りにくいときは太いカテーテルに交換して挿入するほうが良いということ学んだ。</li> <li>・女性は尿道がわかりにくかったです。</li> </ul>
---	---

6. 2で「いいえ」の方、シミュレーターでの実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	11 (32.35 %)
まあまあ	5 (14.71 %)
あまり	0
ぜんぜん	0

7. 2で「いいえ」の方、今後、機会があれば持続的導尿を行いたいと思いますか？

とても	8 (23.53 %)
まあまあ	4 (11.76 %)
あまり	0
ぜんぜん	0

8. 感想、ご要望がありましたらご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございました。特にありません。(多数)</li> <li>・模型での練習が男性のみなので、女性の導尿で手間取りました。</li> </ul>
---

## 肝胆膵内科【実習前】(元山) n=81

### 1. 超音波検査手技に対する現在のイメージを一言で表すと？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しそう。</li> <li>・どの科にいても必要な手技</li> <li>・侵襲がないが、判読が難しい。</li> <li>・外来でも簡便にできる検査で、重要そう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者さんに負担が少ない。画像が白黒でよくわからない。</li> <li>・何が何だか、わからなそうです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこにプローブを当てたら何が見えるのか想像するのが難しい。</li> <li>・簡易的でスクリーニングに有用だが、手技が難しそう。</li> <li>・映ったものが何なのかあまりピンときてないです。</li> <li>・異常を見つけるのが難しい。</li> </ul>
--	---	--

### 2. 今までプローブを持ったことはありますか？

OSCE の心エコーのみ	24 (29.63 %)
何度かある	55 (67.90 %)
なし	2 (2.47 %)

### 3. エコーで抽出できる自信はありますか

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
たぶん	44 (54.32 %)	29 (35.80 %)	29 (35.80 %)	37 (45.68 %)	35 (43.21 %)
自信がある	8 (9.88 %)	9 (11.11 %)	5 (6.17 %)	15 (18.52 %)	8 (9.88 %)
自信がない	29 (35.80 %)	43 (53.09 %)	47 (58.02 %)	29 (35.80 %)	38 (46.91 %)

## 肝胆膵内科【実習後】(元山) n=72

### 1. 本実習の感想は？

非常に良い	67 (93.06 %)
良い	5 (6.94 %)
悪い	0
非常に悪い	0

### 3. 本実習の時間について

ちょうどいい	70 (97.22 %)
短い	2 (2.78 %)
長い	0

### 5. 実習後の肝胆膵内科に対する興味は？

非常に増	17 (23.61 %)
増	54 (75.00 %)
減	1 (1.39 %)
非常に減	0

### 2. エコーで抽出できる自信はつきましたか？

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
たぶん	31 (43.06 %)	28 (38.89 %)	39 (54.17 %)	22 (30.56 %)	36 (50.00 %)
自信がある	40 (55.56 %)	43 (59.72 %)	32 (44.44 %)	50 (69.44 %)	34 (47.22 %)
自信がない	1 (1.39 %)	1 (1.39 %)	0	0	2 (2.78 %)

### 4. 本実習で改善すべきと思う点があれば聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったし、質問もしやすく、すごく勉強になりました。</li> <li>・資料を pdf でもいただけたらありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網羅的で非常に学びが多かったです。</li> <li>・非常にわかりやすい講義でした、ありがとうございました。</li> </ul>
---	--

### 6. 本日の実習でできたこと・感想・要望は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコーの当てたときの見え方やモリソン窩などの用語を知ることができました。</li> <li>・輪切りのものを見たい時に、真ん中に持ってきて90度回せばいいなど、何を見たかったらどう動かせばいいかの仕組みが、実習前よりも理解できるようになりました。</li> <li>・腹部臓器の抽出を自分でやることで、自信がついた。</li> <li>・果物ゼリーを用いたエコー実習、楽しかったです！！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと話を聞きたかったのでより早い時間から始めて 2 時間コースでもよかったです。</li> <li>・異常を探すクイズが楽しかったです。</li> <li>・前は、モリソン窩がどこかわかっていなかったが今回理解して描出もできるようになった。また、門脈壁の見分け方や肝動脈の分岐、肝区域について理解が深まった。</li> <li>・今日の実習で自信がついた。</li> </ul>
--	--

### 7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な練習をして、各臓器の見え方や異常が発見できるようになる。</li> <li>・見たい方向に動かせるようになること。</li> <li>・解剖を把握したうえで適切なエコー操作ができるようになること</li> <li>・1 人でも臓器の異常などをエコーで見つけられるようになります。</li> <li>・短時間で各臓器をエコーで同定して、病変などを見つけられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習していただきありがとうございました。先生の講義は面白くて、エコーの利便さやその有用性についてとても楽しく学べました。</li> <li>・漏れなく観察することが難しかったので、基本画面に則って丁寧に描出する練習を繰り返したいと思います。</li> <li>・解剖を理解した上でエコーを行い、状態を評価できるようになりたい。</li> <li>・実際の患者さん相手にも超音波を使える精度になるまで練習します。</li> </ul>
---	--

肝胆膵内科【実習前】(打田)一週目 n=84

1. 腹部超音波検査の印象は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しそう。</li> <li>・画像の見方が難しい印象です。</li> <li>・描出が難しそうな印象があります。</li> <li>・ゼリーで冷たい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこから何が見られるかわからず、むずかしそう。</li> <li>・優しい検査。</li> <li>・最初に行う検査のイメージがあります。</li> <li>・立体構造と結びつけるのが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・侵襲の少ない検査、サインの名前覚えるのが難しい。</li> <li>・技術が必要で、検査者の力量によって差が出る。</li> <li>・侵襲性がなく患者さんに優しいが、術者の難易度が高い</li> <li>・侵襲が低いわりに、診断に非常に有用な検査。</li> <li>・外来でもできる比較的簡易な検査。</li> <li>・町医者で行っているイメージ。少しコツがいりそう。</li> </ul>
---	---	--

2. 検査の経験回数は？

初めて	40 (47.62 %)
1回	24 (28.57 %)
2-10回	20 (23.81 %)

3. エコーで抽出できる自信はありますか

	1)肝臓	2)胆のう	3)膵臓	4)腎臓	5)脾臓
非常にある	1 (1.19 %)	0	0	2 (2.38 %)	1 (1.19 %)
ある	9 (10.71 %)	6 (7.14 %)	7 (8.33 %)	14 (16.67 %)	10 (11.90 %)
たぶん	22 (26.19 %)	21 (25.00 %)	19 (22.62 %)	16 (19.05 %)	20 (23.81 %)
ない	34 (40.48 %)	34 (40.48 %)	36 (42.86 %)	33 (39.29 %)	33 (39.29 %)
全くない	18 (21.43 %)	23 (27.38 %)	22 (26.19 %)	19 (22.62 %)	20 (23.81 %)

4. 臨床で行えそうですか？

行える	0
多分行える	13 (15.48 %)
たぶん行えない	44 (52.38 %)
行えない	27 (32.14 %)

肝胆膵内科【実習後】(打田)一週目 n=67

1. 実習後の腹部超音波検査の印象は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・当てかたの角度など練習がものを言う手技だと思った。</li> <li>・実際に十分な時間でできて楽しかった。</li> <li>・身体の中を見るにあたってすごい役に立つと思いました。</li> <li>・難しい印象でしたが、丁寧に説明して下さってできるようになった気がします。</li> <li>・角度や向きから、今画面にどう写っているのかを立体的に捉えるのが難しい。</li> <li>・解剖をきちんと理解しておくべきだと改めて実感した。</li> <li>・ポイントを押さえれば描出しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しかったです、適切な方法でやれば非常に有用な検査だと思いました。</li> <li>・ある程度描出はできるかもしれないが、正常構造との違いが把握しきれていないので、苦手意識は少しある。</li> <li>・どの部位からどのようにみられるかについて知ることができてよかった。</li> <li>・角度を少し変えるだけできれいに見えたり見えなかったりするのがおもしろい。</li> <li>・3Dとして頭の中で構成することが難しい。</li> </ul>
---	--

2. 臓器抽出の自信はありますか？

	1)肝臓	2)胆のう	3)膵臓	4)腎臓	5)脾臓
非常にある	6 (8.96 %)	5 (7.46 %)	4 (5.97 %)	15 (22.39 %)	11 (16.42 %)
ある	33 (49.25 %)	36 (53.73 %)	28 (41.79 %)	39 (58.21 %)	30 (44.78 %)
たぶん	25 (37.31 %)	24 (35.82 %)	30 (44.78 %)	12 (17.91 %)	19 (28.36 %)
ない	3 (4.48 %)	2 (2.99 %)	5 (7.46 %)	1 (1.49 %)	7 (10.45 %)
全くない	0	0	0	0	0

3. 画像の出来栄え

	◎は何枚？	○は何枚？	×は何枚？
0枚	10	12	32
1-5枚	21	34	22
6-13枚	25	9	2
平均	5.660	3.381	1.035

4. 臨床で行えそうですか？

行える	4 (5.97 %)
多分行える	36 (53.73 %)
多分行えない	25 (37.31 %)
行えない	2 (2.99 %)

5. 実習のどのような点が役に立ちましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・位置関係がすこし分かりました。</li> <li>・エコーにしっかり触れる機会が得られて良かった。</li> <li>・一つ一つ描出の仕方が分かった点</li> <li>・目標の臓器を実際に出す点。</li> <li>・正常と異常の両方を勉強することができた点。</li> <li>・解剖的知識と超音波画像が関連づけられました。</li> <li>・動かし方を動画に付いていきながら行えたのでわかりやすかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にエコーを使用する際の位置などを学ぶことができ、非常に役立ちました。</li> <li>・わかりやすく丁寧に一つずつ教えてくれました。</li> <li>・全く何もわからない状態だったが、今は正常がどこにあるかわかる！</li> <li>・先生の教え方がわかりやすかったです。</li> <li>・わからないとき先生がすぐ教えてくれたので、前向きに取り組めた。</li> </ul>
--	---

6. 実習のどのような点を改善したほうがよいと思いますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。(多数)</li> <li>・実際に人体でやってみたい。</li> <li>・時間が足りない。</li> </ul>
---

7. その他、ご意見ご要望ご感想などをお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常にわかりやすく有意義な実習でした。ありがとうございました。</li> <li>・ソナリンピックなどで何度か腹部エコーを触ったことはありましたが、やるたびに新たな発見があり楽しいです。ありがとうございました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は実習していただきありがとうございました。OSCE でやったときはとても苦手意識があったが、今日の実習のおかげで苦手意識は無くなりました。</li> <li>・先生の説明が分かりやすかったです。</li> <li>・fast までできて楽しい実習でした。</li> </ul>
--	--

整形外科・神経内科(腰椎穿刺) n= 64

診療科内訳: 整形外科 30 名(46.88 %)、神経内科 34 名(53.13 %)

1. 実際に腰椎穿刺手技を見たことがありますか？	2. 本日の自分は 100 点満点中何点でしたか？	3. 本日の実習の感想は？	4. 難しかったですか？
はい 22 (34.38 %)	最低 平均 最高	非常に良い 42 (65.63 %)	はい 34 (53.13 %)
いいえ 42 (65.63 %)	10 80.3968 100	良い 22 (34.38 %)	いいえ 30 (46.88 %)
		悪い 0	
		非常に悪い 0	

5. 4.で「はい」の方 どのところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・髄液採取ができなかった。</li> <li>・不潔と清潔や内筒と外筒、髄液とれなかった。</li> <li>・上手く髄液のかえってくる所を穿刺するのが難しかった。</li> <li>・硬膜を突き刺す感覚が難しかった。</li> <li>・刺す角度が難しかったです。</li> <li>・たまたま髄液が出てきたが、毎回できる気がしなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棘突起と棘突起の間を少し頭側に傾けて刺すというところに難しさを感じた。</li> <li>・場所を決めて指す感覚に最初は苦労しました。</li> <li>・清潔操作、硬膜、黄色靭帯の感覚が難しかった。</li> <li>・硬膜化に達するのが難しい。</li> <li>・細かい動作が多くそれを覚えるのが少し難しかった。</li> </ul>
--	--

6. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰椎穿刺の全体像の把握。清潔・不潔の違い。</li> <li>・安全に腰椎穿刺を行うこと。</li> <li>・よりまっすぐに針を進められました。</li> <li>・内套外套の操作。</li> <li>・丁寧な声掛け。</li> <li>・スムーズに進められた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回よりも進入角度などが適切になってスムーズに行うことができた。</li> <li>・腰椎穿刺の一連の流れと針を刺す深さがわかった。</li> <li>・患者さんへの声掛け。</li> <li>・髄液をうまく抽出すること以外の手順などを把握することができた。</li> </ul>
---	--

7. 次回の実習・今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・一発で髄液を採取します。</li> <li>・声かけも含めてスムーズに行う。</li> <li>・刺し直し無しにできるようになる。</li> <li>・本番になるとおそらく緊張してしまうので、慣れていきたい。清潔不潔も意識できるようになりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔を意識する。</li> <li>・手順を見ずに行う。</li> <li>・麻酔を忘れない。</li> <li>・次回は清潔と非清潔エリアを分けてより正確に腰椎穿刺できるように精進します。</li> </ul>
---	--

8. 2 回目の実習の時のみお答えください。

前回よりもレベルアップしましたか？

かなりした	8 (12.50 %)
した	25 (39.06 %)
同じ	7 (10.94 %)
下がった	1 (1.56 %)

9. 実習後の各科に対する興味は？

非常に増	13 (20.31 %)
増	46 (71.88 %)
減	0
非常に減	0

10. 今回の実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	45 (70.31 %)
まあまあ	14 (21.88 %)
あまり	0
全然	0

11. 実習後の各科に対する興味は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。(多数)</li> <li>・最初にデモンストレーションがあればより理解が深まったと思います。</li> <li>・もう少し液体が出やすかったらよかったと思う。</li> </ul>
--

12. 整形外科、神経内科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。(多数)</li> <li>・関節鏡。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳波測定。</li> </ul>
---	--

## 整形外科(神経学的所見) n= 50

### 1. 実習前の段階で、神経診察に苦手意識はありましたか？

とても	27 (54.00 %)
まあまあ	20 (40.00 %)
少し	3 (6.00 %)
全然ない	0

### 2. 本実習は役に立ちそうですか？

とても	47 (94.00 %)
まあまあ	2 (4.00 %)
少し	0
全然ない	1 (2.00 %)

### 3. 実習の進め方は？

非常に良い	44 (88.00 %)
良い	6 (12.00 %)
悪い	0
非常に悪い	0

### 4. 実習後、神経診察に苦手意識はありますか？

とても	3 (6.00 %)
まあまあ	13 (26.00 %)
少し	25 (50.00 %)
全然ない	9 (18.00 %)

### 5. 神経診察を行う自信はつききましたか？

とても	14 (28.00 %)
まあまあ	27 (54.00 %)
少し	9 (18.00 %)
全然ない	0

### 6. 実習後の整形外科に対する興味は？

非常に増	11 (22.00 %)
増	39 (78.00 %)
減	0
非常に減	0

### 7. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経診察の実践的な内容のエッセンスを知れてありがたかったです。</li> <li>・非常に先生が面白く、分かりやすかった。</li> <li>・要点をコンパクトにまとめていただいてとても分かりやすかったです。</li> <li>・実践を含んだとても分かりやすい講義でした。</li> <li>・実用的なスキルも含めて教えていただけてよかったです。</li> <li>・改めて解剖学的な知識の復習が必要であると感じました。</li> <li>・MMT の取り方が勉強になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手意識がなくなりました。</li> <li>・神経学的所見を取るのが難しかったです。</li> <li>・各部位の神経診察の考え方について知れてとてもよかったです。</li> <li>・理論から系統的に教えていただけたので分かりやすかったです。ありがとうございました。</li> <li>・非常にわかりやすかったです。要点がわかり、神経診察が少し整理できたように思います。しっかり復習して、自分のものにしていきたいです。</li> </ul>
--	--

## 整形外科(関節鏡) n= 36

### 1. これまでに本手技を過去に見たことがありますか？

はい	9 (25.00 %)
いいえ	27 (75.00 %)

### 2. 難しかったですか？

はい	19 (52.78 %)
いいえ	17 (47.22 %)

### 3. 2.で「はい」と答えた方、具体的に難しかった点、改善点は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・左手の固定が難しかったです。</li> <li>・最初は左手の器具を画面内に入れるのが難しかった。</li> <li>・視野をいい具合に保つこと。</li> <li>・左右の器具が独立しないように、近い距離を保ちながらするの難しかった。</li> <li>・自分が動かそうとした向きにうまく動かず苦戦しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ操作などが難しく感じました。</li> <li>・右手が一度画面の外にいってしまうとリカバリーするのが難しかった。</li> <li>・視野が回転した際に特に難しかったです。</li> </ul> <p>改善点は指の動かし方に対する視野の変化を染み込ませることが重要だと思います。</p>
--	---

### 4. 本実習の感想は？

非常に良い	27 (75.00 %)
良い	9 (25.00 %)
悪い	0
非常に悪い	0

整形外科(ギプス) n= 35

1. これまでにご自身がギプス治療を受けた、または家族・友人が受けたのを間近で見たことはありますか？

はい	20 (57.14 %)
いいえ	15 (42.86 %)

2. 1.で「はい」の方、その感想・印象は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・締め付けが強く、だんだん圧迫されて痛くなったりしていて辛そうだった。</li> <li>・守られている安心感があった。</li> <li>・痛そうでした。また、強固に固定されてもいました。</li> <li>・昔はずっとつけっぱなしだったので、むれて不快でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かゆかった。</li> <li>・ギプスをとる時のカッターに驚きました。</li> <li>・石膏タイプだったのでとても大変そうだった。</li> <li>・固定力がすごかった印象があります。</li> <li>・簡単そうにギプスを巻いていた印象でした。</li> </ul>
--	--

3. 本日の実習の感想は？

非常に良い	26 (74.29 %)
良い	8 (22.86 %)
悪い	0
非常に悪い	0

4. 実習の進め方は？

非常に良い	27 (77.14 %)
良い	7 (20.00 %)
悪い	0
良い非常に悪い	0

5. 難しかったですか？

はい	17 (48.57 %)
いいえ	17 (48.57 %)

6. 5.で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまくギプスを外すこと。</li> <li>・ギプスを切るのが難しかった。肌を傷つけるのではないかと不安だったが、遠慮すると全然切れなかった。</li> <li>・親指にまたがる巻き方が難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギプスが固まるまでに装着を行わないといけないため。</li> <li>・固まるまでが早く、綺麗に巻くのが難しかった。</li> <li>・早く巻くこと、思いきりよく切ること。</li> <li>・ギプスを巻く速度が遅く巻き終わる前に固まってしまった。</li> </ul>
--	--

7. 実習後の整形外科に対する興味は？

非常に増	6 (17.14 %)
増	27 (77.14 %)
減	1 (2.86 %)
非常に減	0

8. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常にわかりやすかったです。</li> <li>・ギプスを切る時、力の入れ加減が難しく、長い時間当てすぎると熱を持って患者さんが熱いので、それを調節するのが難しかった。</li> <li>・ギプスを実際に巻けて、楽しかったです。</li> <li>・身近だけど意外と知らなかったことだったので、知れてよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギプスをカットするのがドキドキしました。何度もギプスを巻いてもらった経験があったので、スムーズに巻けてうれしかったです。</li> <li>・初めてギプスを巻いて楽しかったです。刃で切るのは怖かったです。面白かったです。</li> <li>・実際にギプスできてほめていただけで自信になりました！整形いきます！</li> </ul>
--	---

整形外科(糸結び) n= 39

1. これまでに手術に参加して糸結びを行う機会がありましたか？

はい	22 (56.41 %)
いいえ	17 (43.59 %)

2. これまでに糸結びの方法を教えてもらう機会がありましたか？

はい	26 (66.67 %)
いいえ	13 (33.33 %)

3. 2で「はい」の方、具体的な科を教えてください

・心臓血管外科	・肝胆膵外科	・皮膚科
・消化器外科	・耳鼻咽喉科	・外科学講座

4. 難しかったですか？

はい	16 (41.03 %)
いいえ	23 (58.97 %)

5. 4で「はい」と答えた方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな種類の結び方があり、難しかったです</li> <li>・ひもに与えるテンションを適度に維持しつつ行うところ。</li> <li>・手順がややこしかったです。</li> <li>・結び方がたくさんあるところ。</li> <li>・3種類の結び方を左右で行うのが複雑でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの結び方を覚えると、その他を忘れてしまう。</li> <li>・形を覚えること。</li> <li>・手袋を使いながら細い糸を使いこなすところ。</li> <li>・いろんなやり方があるのが大変でした。</li> <li>・指の動きを覚えるのが難しかった。</li> </ul>
---	---

6. 実習の進め方は？

非常に良い	32 (82.05 %)
良い	7 (17.95 %)
悪い	0
非常に悪い	0

7. 本実習の感想は？

非常に良い	32 (82.05 %)
良い	7 (17.95 %)
悪い	0
良い非常に悪い	0

8. 実習後の整形外科に対する興味は？

非常に増	8 (20.51 %)
増	31 (79.49 %)
減	0
非常に減	0

9. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・何度も練習しようと刺激を受けました。</li> <li>・様々な縫合方法を教えていただき、難しかったですが大変勉強になりました。</li> <li>・男結び女結びの意図について学ぶことができ非常に勉強になったと感じました。</li> <li>・先生の解説が分かりやすかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の目線に寄り添って糸結びの方法を教えてくださいととてもよかったです。</li> <li>・どんな結び方をどんな時に使うと教えていただけなのが勉強になりました。</li> <li>・糸結びの理論から非常にわかりやすかったです。</li> <li>・先生も丁寧に教えてください、大変良かったです。</li> </ul>
--	---

10. 整形外科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし(多数)</li> <li>・心臓血管外科。</li> <li>・レントゲンの撮り方画像の読み方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関節鏡視下での器具の扱い方をもう少しできたら嬉しいかなと思います。</li> <li>・実際に糸むすびもしてみたいです</li> </ul>
---	--

耳鼻咽喉科(耳鼻科診察) n=50

1. 予習はしてきましたか？

十分に	8 (16.00 %)
少し	34 (68.00 %)
全然	8 (16.00 %)

2. 実際に挿管を見たことはありますか？

いいえ(0回)	7(58.33%)
1回	1 (20.8 %)
2~4回	4 (8.33%)
5回以上	0

2. 本日の自分は100点満点中何点？

最低	平均	最高
50	83	100

3. 本実習の感想は？

非常に良い	24 (48.00 %)
良い	25 (50.00 %)
悪い	1 (2.00 %)
非常に悪い	0

4. 難しかったですか？

はい	18 (36.00 %)
いいえ	32 (64.00 %)

5. 4で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳鏡を正しく奥まで挿入しておらず、鼓膜が見えなかった。先生に教えてもらいみる事ができた。</li> <li>・自分の目で見たものを他の人と共有できないのでディスカッションができなかったこと。</li> <li>・鼓膜の観察で視野が狭かった。</li> <li>・ピントが合わないので、難しいです。</li> <li>・鼓膜の判断に自信を持ってませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーターでも異常か正常かの違いが分かりにくい疾患もあったので、実際の診察で患者の耳内だとどれくらいの症状が見られるかがわからないところが難しかった。</li> <li>・耳鏡での所見を全て捉えること。</li> <li>・ガゼを落とさずに適切な位置に置くのが難しく感じました。</li> <li>・初見から疾患を推察する。</li> </ul>
---	---

6. 本日の実習でできたこと、分かったことは？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・鼻鏡の使い方を知ることができました。また、いくつかの鼓膜所見を理解できました。</li> <li>・耳鏡で様々な中耳炎の症状を見ることが出来て、実際にどのように見えるかが分かりました。</li> <li>・鼓膜の状態がどんな病態かわかりました。</li> <li>・かなり奥まで耳鏡を挿入し、よく見ないとわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳鏡の使い方。鼓膜初見の疾患による違い。鼻の穴の観察。</li> <li>・耳鏡での所見を理解するために正常との比較をしっかりと理解する必要があると思いました。</li> <li>・器具の正しい使用法と、耳鏡による各疾患の見え方。</li> <li>・耳鼻科の診察の仕方を学んだ。</li> </ul>
---	---

7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・鼓膜所見から疾患を鑑別すること。</li> <li>・鼓膜が見えやすい画角にするのをもう少し早くする。</li> <li>・実際に耳鏡を使って所見が取れるようになる。</li> <li>・知識と実際の病変をリンクさせる。</li> <li>・耳や目を診る機会があれば躊躇なくかつ安全に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鼓膜所見の鑑別にまだ自信がないので、繰り返し見て覚える。</li> <li>・耳鼻咽喉科の手技を実際の患者にもできるようにすること。</li> <li>・自分でどんな疾患ならどのような所見があるかを整理したい。</li> <li>・シミュレーターではなく実際に患者さんで行った時にしっかりと鑑別できるようになりたいです</li> </ul>
--	--

8. 実習後の耳鼻科に対する興味は？

非常に増	5 (10.00 %)
増	43 (86.00 %)
減	0
非常に減	0

9. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

とても	34 (68.00 %)
まあまあ	16 (32.00 %)
あまり	0
全然	0

10. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

・特になし。(多数)	・4年生のOCSEで覚えたこと以外も教えていただきたいです。
------------	--------------------------------

11. 耳鼻科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のままで十分良いと思います。(多数)</li> <li>・耳の検査を見学してみたいです。</li> <li>・外科的手術に関連すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳鼻科特有の手技(鼻腔内の縫合など)に興味がある。</li> <li>・耳鼻科領域の構造をしっかりと理解できているとは言い難いので、立体構造をより理解できる実習があると嬉しいです。</li> </ul>
--	---

12. 本実習に対する感想・フリーコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすかったです。ありがとうございました。(多数)</li> <li>・いろんな症例の耳の病気を見られて勉強になりました。</li> <li>・構造を理解して観察できました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鼓膜所見に関しては何度も勉強しているはずなのになかなか自信を持てずにいたので、今回の実習を通してすこし自信がついてよかったです。ありがとうございました。</li> </ul>
--	---

耳鼻咽喉科(挿管・気切・咽頭ファイバー) n=43

1. 予習はしてきましたか？

十分に	5 (11.63 %)
少し	25 (58.14 %)
全然	12 (27.91 %)

2. 実際に挿管を見たことはありますか？

いいえ(0回)	17 (39.53 %)
1回	8 (18.60 %)
2~4回	12 (27.91 %)
5回以上	5 (11.63 %)

3. 本日の自分は100点満点中何点？

最低	平均	最高
50	83.048	100

4. 本実習の感想は？

非常に良い	26 (60.47 %)
良い	16 (37.21 %)
悪い	0
非常に悪い	0

5. 難しかったですか？

はい	20 (46.51 %)
いいえ	22 (51.16 %)

6. 5で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に喉頭蓋を見ること。</li> <li>・気管挿管の手技が難しかったです。</li> <li>・意識がある患者さんに対しては不快感が強い検査であるので、スムーズに行う必要があることを考えると、慣れるまで難しい検査であると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管切開の場所があまりわからなかった。</li> <li>・喉頭鏡で喉頭蓋を見ること。</li> <li>・迅速に手技を行うことが難しく感じました。</li> <li>・上手く入らなかったし、見えなかった。</li> <li>・喉頭鏡で喉頭蓋を見ること。</li> </ul>
--	--

7. 本日の実習でできたこと、分かったことは？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・思った以上に気管挿管が難しかった。</li> <li>・気管挿管の手技が少し理解できました。</li> <li>・説明聞いてからできたので上手くできた。</li> <li>・気管挿管の迅速さの必要性と方法。</li> <li>・挿管時は目を離さないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイバーの扱い方がわかった。</li> <li>・頸部の解剖や挿管の方法について知れてよかったです。</li> <li>・挿管などのポイントを学んで、実際に練習できた。</li> <li>・気管切開の位置など、よく勉強になりました。</li> <li>・麻酔科の実習時に行った気管挿管の復習になった</li> </ul>
---	---

8. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管挿管スムーズにする。</li> <li>・スピーディーに患者に負担をかけない方法を学び続けること。</li> <li>・実際の患者さんに行えるレベルの手技になるよう練習をします。</li> <li>・実際に挿管や気管切開ができるようになること。</li> <li>・耳や目を診る機会があれば躊躇なくかつ安全に行う。</li> <li>・挿管時に歯を折らないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳鼻科は後回しにしていたのですが学習しようと思いました。</li> <li>・実際の場面でもSSCでの経験を活かして頑張る。</li> <li>・挿管や気管切開など今後大切になると思うので、確実にやるようになりたいです。</li> <li>・もっと構造を理解して無駄なく切開ができるようになりたいです。</li> <li>・気管切開に至るまでの判断、その後の管理について理解を深める。</li> </ul>
---	---

9. 実習後の耳鼻科に対する興味は？

非常に増	10 (23.26 %)
増	32 (74.42 %)
減	0
非常に減	0

10. 今日の実習は今後役立つそうですか？

とても	36 (83.72 %)
まあまあ	6 (13.95 %)
あまり	0
全然	0

11. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

・特になし。(多数)

12. 耳鼻科で他にどんな実習を希望しますか？

・今のままで十分良いと思います。(多数)    ・外科手技の実習。    ・一般的に役立つ手技。

13. 本実習に対する感想・フリーコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすかったです。ありがとうございました。(多数)</li> <li>・挿管への意識が高まりました。</li> <li>・気管挿管について詳しく教えていただき、ありがとうございました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて気管挿管を行うことができて非常に有意義な時間でした。ありがとうございました。</li> <li>・挿管など現場で必要になってくると思うので学べてよかったです。</li> </ul>
---	---

1. 実習の内容はどうでしたか？

良かった	26 (78.78 %)
すこし良かった	6 (18.18 %)
どちらでもなかった	0
少し悪かった	1 (3.03 %)
悪かった	0

2. 内視鏡下生検の意義は理解できましたか？

理解できた	27 (81.81 %)
少し理解できた	6 (18.18 %)
どちらでもなかった	0
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

3. 内視鏡下生検の意義は理解できましたか？

理解できた	25 (75.75 %)
少し理解できた	6 (18.18 %)
どちらでもなかった	2 (6.06 %)
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

4. 内視鏡下生検(スコピスト側)で難しかったことを教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリープを真ん中に持ってくること。</li> <li>・どこを見ているのかのイメージをすることは難しかったです。</li> <li>・ポリープにしっかりと画角を合わせること。</li> <li>・鉗子と病変の距離を判断することが難しかったです。</li> <li>・視点移動が難しかった。</li> <li>・自分がどこを見ているのかわからなくてなかなか思った通りの方向を見られませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡を思い通りに操作するのが難しかったです。</li> <li>・視野の確保と目標物を探すこと。</li> <li>・内視鏡の向きが思った方向にいかず、難しいと感じました。</li> <li>・スコープから右手を離れた状態で view を安定させるのが難しかった。</li> <li>・手首ではなく体を動かして、操作するのが難しかった。</li> </ul>
---	--

5. 内視鏡下生検(介助者側)で難しかったことを教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔不潔。</li> <li>・胃液が飛ばないように鉗子を回収するのが難しかった。</li> <li>・生検の器具を手繰り寄せるのが難しかったです。</li> <li>・どのタイミングで先が出てくるかわからなくて恐る恐る引く張っていました。</li> <li>・鉗子をいいタイミングで開くのが難しいと感じました。</li> <li>・最後拭き取りながら引くのが難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・術者がやりやすいようにサポートするのが難しかった。</li> <li>・鉗子を渡すタイミング。</li> <li>・実際の現場でうまくいけるか自信はない。</li> <li>・ワイヤーの扱いが難しかったです。</li> <li>・グリップの力加減。</li> <li>・スコピストをよりスムーズに行えるようにすることが難しかったです。</li> </ul>
---	--

6. 内視鏡下生検の実習の感想と、良かった点と改善した方がいい点を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡の正しい持ち方や動かし方を学ぶことが出来、勉強になりました。良かった点は内視鏡を実際に触ることが出来た点です。改善した方がいい点は特にありません。</li> <li>・生検の器具を実際に使えて、楽しかったです。難しいかもしれませんが、器具の中にゼリーのようなものを置いて、生検で取ってこれたらいいなと思いました。</li> <li>・非常にわかりやすかったです。内視鏡検査の時の動作のコツについて理解できました。</li> <li>・最後拭き取りながら引くのが難しかった。</li> <li>・内視鏡下生検の手順が分かったし、苦戦していると先生がコツを教えてくださいまして、質問もしやすくて、良い勉強になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生検の取り方について学ぶことができました。</li> <li>・内視鏡を実際に触ることができ、勉強になりました。解剖の理解が重要だと感じました。実習ありがとうございました。</li> <li>・先生の内視鏡操作の説明が今までの教えてもらった中で一番わかりやすかった。</li> <li>・内視鏡の機械の仕組みから丁寧に教えていただけて勉強になりました。組織採取のコツや疾患との関連が知れてよかったです。改善点は特にありません。</li> <li>・実習自体は復習にもなってすごくよかったです。講義は内容が難しいのもあったと思いますが、もう少し内容を絞って端的に説明していただけると理解しやすかったと思います。</li> <li>・2台、内視鏡の機械があると良かった。</li> </ul>
---	--

7. 直腸診の実習内容は どうでしたか？

良かった	26 (78.78 %)
少し良かった	5 (15.15 %)
どちらでもなかった	2 (6.06 %)
少し悪かった	0
悪かった	0

8. 直腸診の意義は理解できましたか？

理解できた	27 (81.81 %)
少し理解できた	3 (9.09 %)
どちらでもなかった	3 (9.09 %)
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

9. 直腸診の注意点は理解できましたか？

理解できた	27 (81.81 %)
少し理解できた	4 (12.12 %)
どちらでもなかった	2 (6.06 %)
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

10. 医師になってから直腸診ができる自信ができましたか？

ついた	5 (15.15 %)
少しついた	24 (72.72 %)
どちらともいえない	3 (9.09 %)
あまりつかなかった	1 (3.03 %)
つかなかった	0

11. 10.で直腸診ができる自信が「少しついた」、「ついた」以外を選んだ方はその理由を教えてください。

・やっていない。

12. 直腸診で難しかったことを教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・思っているより指の届く範囲が狭い点。</li> <li>・患者さんへの声掛け。</li> <li>・手技に夢中になってしまい、患者さんの羞恥心に配慮した声掛けを行うのが難しかった。</li> <li>・あるとわかっている病変を通り過ぎてしまいました。</li> <li>・嫌悪感。</li> <li>・全周をしっかり触ること。</li> <li>・指を回す時の姿勢の調節。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーターなので実際に何を注意してやればいいのか少し想像しづらかった。</li> <li>・病変が何時の方向にあるのかの判断が少し難しかった。</li> <li>・しっかり奥まで入れること。</li> <li>・実際に臨床の場で直腸に手を入れる時に患者が痛がったりしたら難しそうだなと思った。</li> <li>・指を360度まなく回すことが難しかったです。</li> <li>・奥のほうに腫瘤があると、触れるのが難しかったです。</li> </ul>
---	--

13. 直腸診の実習の感想と良かった点と改善した方がいい点を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやるのか知識がなかったので教えていただき良かったです。</li> <li>・ポリープがわかりやすく良かった。</li> <li>・お忙しい中ありがとうございました。声掛けから学ぶことができました。</li> <li>・最初の説明はやはり少し長くて、あまり理解できなかった部分もありましたが、説明の紙はわかりやすく、また質問へとても丁寧に答えていただけたのが良かったです。</li> <li>・OSCE で必要な知識と照らし合わせながら実習できたことが良かったです。</li> <li>・中に病変があつて、自分がしっかり触れているかをそれで確認できた。もう少し色々な部位に病変があると良かった。</li> <li>・鑑別疾患をあたまに入れて今後の対応を考えなければならないので、病態を正しく理解したい。</li> <li>・指示以外の指の置き場なども教えていただけてよかったです。</li> <li>・声のかけ方や診察後の手袋の扱い方など教えてもらったのは良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習ありがとうございました。ポリープや前立腺を触ることができるようまで何度か挑戦させていただけたのが良かったです。</li> <li>・シミュレーターにもう少しバリエーションがあるとさらに良い実習になると思う。</li> <li>・直腸診の方法を教わることで良かったです。患者さんにするには、少し勇気がいりそうだと思います。</li> <li>・全周を触れるのが難しかったです。良かった点はポリープの感触を知ることが出来た点です。改善点は特にありません。</li> <li>・直腸診の実習をOSCE風に行うのは初めてでした。看護師さんの陪席が必要なのは知らなかったので、知ることができてよかったです。学生同士ペアになって行くと、より臨場感が出ると思いました。ありがとうございました。</li> <li>・直腸診の器具が2つあり、とてもポリープや前立腺も触ることができて良かったです。</li> <li>・ただやるだけじゃなくて、意義ややり方などたくさん説明してもらえたのでわかりやすかったです。</li> </ul>
---	--

1. 実習の内容はどうでしたか？

良かった	34 (87.17 %)
すこし良かった	4 (10.25 %)
どちらでもなかった	1 (2.56 %)
少し悪かった	0
悪かった	0

2. 腹部診察に興味を持ちましたか？

興味を持った	23 (58.97 %)
少し興味を持った	14 (35.89 %)
どちらともいえない	2 (5.12 %)
あまり持てなかった	0
持てなかった	0

3. 興味を持った診察方法、その理由を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹水を見るために揺らす方法。力加減が難しかったから。</li> <li>・腹水の検査、腹水はよく見られる症候の一つであるがその身体診察をよく知らなかったため。</li> <li>・腹水の評価 衝撃が堰き止められているのを感じられておもしろかったです。</li> <li>・胃カメラを実際に触ってみて、色々な動きを試せたのが楽しかったです。</li> <li>・叩打診に興味を持ちました。腎結石があるのが叩いて分かるというのが不思議だからです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝臓の触診。重度の肝硬変であれば画像検査をせずに分かるため。</li> <li>・肝臓の触診、入っているモデルと触診の感覚を比べることができたため。</li> <li>・腹膜刺激徴候を調べる身体診察、その後の検査が大きく変わるから。</li> <li>・反跳痛：診断に結びつきやすいから。</li> <li>・胃カメラを実際に触ってみて、色々な動きを試せたのが楽しかったです。</li> </ul>
--	---

4. 腹部診察のどのような点が難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に肝臓や脾臓、腎臓の触診はとても難しそうだと感じました。</li> <li>・肝臓や脾臓の触診が慣れるまでは入れるタイミングや触り方が難しかったです。</li> <li>・肝臓や腎臓に触れるために強く触るのが難しかったです。</li> <li>・鑑別診断のために適切な診察を選ぶこと。</li> <li>・どういう機序で痛みが現れるのかを考えながらするのが難しかったです。</li> <li>・異常とわかっていない状態で所見を見つけることが難しかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目を覚えるのが大変だと思いました。実際の患者さんでやるとなると、気配りも大事だと感じました。</li> <li>・腸雑音が正常か亢進しているのか聞き分けるのが難しかったです。</li> <li>・腸蠕動音の亢進、金属音の聴取が難しかった。</li> <li>・実際の人間でやるのはむずかしそう。</li> <li>・実際の人体ではないので、臨床でどの程度押し込んでいかや感触をイメージするのが困難だった。</li> <li>・強く患者さんのお腹を押さなければならない点。</li> <li>・患者さんの呼吸に合わせて診察するところ。</li> </ul>
---	--

5. この実習の感想と、良かった点と改善した方がよい点を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器内視鏡検査の手技を繰り返して行えたので勉強になりました。またより詳細な腹部診察の方法を学べたので機会があれば外来などで実践したいと思います。</li> <li>・良かった点は、肝臓のクイズを出していただいたりした点です。改善した方がよい点は、特にありません。</li> <li>・ありがとうございました。新たな手法も学べて、良い勉強になりました。あくまで一意見ですが、実際に班員に対しても行った方がよい練習になるのではないかと思います。</li> <li>・非常にためになる実習でした。OSCE ではやらなかった診察に関しても学ぶことができて良かったと思います。</li> <li>・身体所見を取ることの重要性を教えていただくことで、より学ぼうという姿勢になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生と1体2で教えて頂けたので分かりやすかったです。</li> <li>・実習ありがとうございました。シミュレーターで肝臓の触診や腸雑音の聴診をしたことがなかったので非常に良かったです。</li> <li>・4年次OSCEでは学ばなかった、詳細な腹部診察を学べて良かった。もう少し時間があれば良かったかもしれないと思った。</li> <li>・実際の模型を使って、先生から丁寧なレクチャーを受けながら実習できたので、非常に勉強になりました。</li> <li>・ありがとうございました。実際に模型を使って練習できて良かったです。改善できるというのは、模型の台数の少なさです。</li> </ul>
--	--

消化器内科・総合診療センター(内視鏡) n=71

診療科内訳:消化器内科 45名 (63.38%)、総合診療センター26名 (36.62%)

1. 予習はしてきましたか？

十分に	30 (42.25%)
少し	39 (54.93%)
全然	2 (2.82%)

2. 実際に内視鏡検査を見たことはありますか？

はい	17 (39.53%)
いいえ	5 (11.63%)

3. 実習前の内視鏡に対する興味は100%中何%ですか？

最低	平均	最高
10	67.2463	150

4. 本日の自分は100点満点中何点でしたか？

最低	平均	最高
30	76.3142	100

5. 本実習の感想は？

非常に良い	41 (57.75%)
良い	30 (42.25%)
悪い	0
非常に悪い	0

6. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡の基本的な使い方ができるようになった。</li> <li>・内視鏡の難しさを体感できた。</li> <li>・カメラの進め方は力があるが、それをできるようになった。</li> <li>・幽門から十二指腸へスムーズに入ることができた。</li> <li>・下部消化管内視鏡検査の手順を理解し、覚えた。</li> <li>・最低限の上部消化管内視鏡とある程度上手に下部消化管内視鏡できるようになった。</li> <li>・内視鏡、前回は小腸の入り口で苦戦したが、今回はスルスルっと入った。</li> <li>・左右上下を上手く使えるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上部消化管内視鏡検査は全てできました。</li> <li>・消化管の構造を考えながらできた。</li> <li>・ファーター乳頭も見られた。</li> <li>・上部消化管内視鏡で噴門部、幽門部を正確に見ること。</li> <li>・消化管内視鏡における観察ポイントを理解しました。</li> <li>・上部消化管をするのは3回目だった。小湾や胃角の観察を前回よりスムーズにできた。</li> <li>・3次元的に頭の中で描きながらなんとかこなすことができた。</li> <li>・目標物をカメラの真ん中におさめること。</li> </ul>
---	---

7. 次回の実習・今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・上部消化管内視鏡で、十二指腸まで至りやすくする。</li> <li>・スムーズに向きを変えたり、カメラを進めたりできるようにしたい。</li> <li>・ごり押しせずに自然にできるようになりたい。大腸が難しかったので、頑張りたい。</li> <li>・カメラを回転して上手く病変を観察できるようにする。</li> <li>・できる限り壁に当たらないように進めること。</li> <li>・手首を柔軟に使えるようになりたいです。</li> <li>・手首の動きに対応した内視鏡の動きを予測しながら実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上部消化管内視鏡で Vater 乳頭をスムーズにみられるようになる。</li> <li>・短時間で病変を確認したり、スクリーニング検査を行ったりできるようになりたいです。</li> <li>・実臨床でも内視鏡ができるようになること。</li> <li>・胃の解剖の位置関係をもう少し理解して胃カメラに取り組みたい。</li> <li>・ポリープに何度かぶつかってしまったのでぶつからずに幽門に到達できるようになりたい。</li> <li>・下部消化管内視鏡においてCまで到達すること。</li> </ul>
---	---

8. 2回目の実習の時のみお答えください。前回よりもレベルアップしましたか？

かなりした	11 (15.49%)
した	25 (35.21%)
同じ	9 (12.68%)
下がった	0

9. 2回目の実習の時のみお答えください。本日の自分は100点満点中何点？

かなり変わった	16 (22.54%)
変わった	21 (29.58%)
同じ	5 (7.04%)

10. 実習後の内視鏡に対する興味は100%中何%ですか？

最低	平均	最高
40	79.6610	100

11. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

・特にありません。(多数)

放射線治療科(内照射) n=40

1. 一連の放射線治療科実習を受ける前の放射線治療に対する印象は？

よい	26 (65.00 %)
悪い	1 (2.50 %)
ない	13 (32.50 %)

2. 一連の放射線治療科実習を受けた後の放射線治療に対する印象は？

すごく興味がある	7 (17.50 %)
興味がある	31 (77.50 %)
興味がない	2 (5.00 %)
すごく興味がない	0

3. 「子宮頸がん放射線治療」の実習の難易度について

難しかった	1 (2.50 %)
難しい	9 (22.50 %)
ちょうどいい	28 (70.00 %)
簡単	2 (5.00 %)
簡単すぎる	0

4. 「子宮頸がん放射線治療」の実習の内容について

おもしろかった	36 (90.00 %)
つまらなかった	4 (10.00 %)

5. 「子宮頸がん放射線治療」の実習の分量について

多い	7 (17.50 %)
ちょうどいい	32 (80.00 %)
物足りない	1 (2.50 %)

6. 一連の放射線治療科実習を通じて感想、要望をお書きください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義が非常にわかりやすく、画像を見て疾患を答える実習が特に面白かったです。ありがとうございました。</li> <li>・講義パートも国試の問題を元に構成されており、大変勉強になりました。ありがとうございました。</li> <li>・講義の中で手順の解説があり、実際に自分で行う際に分かりやすかったです。ご講義ありがとうございました。</li> <li>・実習ありがとうございました。放射線治療についてあまり知らなかったのですが、実習を通して放射線治療科に進むのも将来の選択肢の一つになりそうだと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなに無理やり入れていいの不安だった。</li> <li>・器具を使った練習ができてよかった。</li> <li>・放射線治療が具体的にどのように行われているのか、その一部を体験することができ、とても興味深かったです。</li> <li>・放射線治療科の必要性やイメージが湧きました。</li> <li>・位置決め一つとっても奥が深いと感じた。</li> <li>・実際の治療の場面を見てみたかったです。</li> <li>・放射線に対するイメージがより良いものになりました。</li> </ul>
---	--

総合診療科(英語) n=89

1. 英語は

得意	10 (11.24 %)
普通	36 (40.45 %)
不得意	43 (48.31 %)

2. 普段英語を使う機会はありますか？

はい	10 (11.24 %)
いいえ	79 (88.76 %)

3.2. で「はい」の方はどこで？

・子どもに教える ・レアジョブ ・バイトで	・英会話教室 ・オンライン英会話、 留学生と	・道で見るイケメンの外国人に喋りかける ・国際交流サークル ISAO に所属しているので、留学生の受け入れ等で話す機会があります。
-----------------------------	------------------------------	--

4. 将来仕事で英語が必要だと思いますか？

はい	78 (87.64 %)
いいえ	11 (12.36 %)

5. 将来海外で働きたいですか？

はい	26 (29.21 %)
いいえ	63 (70.79 %)

6. 前半の学生同士の問診実習の難易度は？

簡単	4 (4.49 %)
ちょうど良い	74 (83.15 %)
難しい	11 (12.36 %)

7. 後半の模擬患者さんに対しての問診実習の難易度は？

簡単	1 (1.12 %)
ちょうど良い	53 (59.55 %)
難しい	34 (38.20 %)

8. 英語だけでの実習はどうでしたか？

英語だけがよい	53 (59.55 %)
分からないときは 日本語も使いたい	33 (37.08 %)
全部日本語がいい	3 (3.37 %)

9. 模擬患者さんに共感的な態度を示すことはできましたか？

はい (日本語の時と同じくらい)	22 (24.72 %)
少し	54 (60.67 %)
いいえ	13 (14.61 %)

10. 本実習で英語に対する自信はつきましたか？

はい	42 (47.19 %)
いいえ	47 (52.81 %)

11. 本実習後の医学英語に対する興味は？

非常に増	16 (17.98 %)
増	70 (78.65 %)
減	1 (1.12 %)
非常に減	2 (2.25 %)

12. 模擬患者をして下さった留学生の先生にメッセージをお願いします。日本語でも OK !

・丁寧に受け答えして下さい、ありがとうございます。 ・私が辿々しく英語を喋っているときも焦らず待って下さり、優しくフォローを入れてくださりとてもリラックスできました。	・温かい雰囲気だったので失敗を恐れずできました。 ・外国の患者さんの診察にあまりイメージがわかかなかったので今回の実習はよりためになりました。
--	--

13. 本実習の改善点や感想があればお願いします。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと頻度を増やして下さると嬉しいです。</li> <li>・もっと低学年のうちからこのような機会があれば良いのかなと思います。</li> <li>・もっと本格的な問診をする機会もあれば良いと思いました。</li> <li>・留学生ともう少し長い時間話したかったです。</li> <li>・英語問診の基本型を覚えられたのでとても為になりました！</li> <li>・絶対に今後必要なスキルだと思うのでもっと勉強して練習して、将来使えるようになりたいです。</li> <li>・自分の英語力の無さを痛感しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム訛りの英語の発音に非常に驚いた。丁寧に発音すれば聞き取ってもらえたが、英語という一つの言語でここまで違いがあるのかとショックを受けた。</li> <li>・強制的に英語しか話してはいけない、私にはほぼ初めての時間でとても勉強になりました。</li> <li>・英語が難しかったですが、英語での問診の必要性を実感する良い機会になりました。</li> <li>・絶妙に何と言えれば良いのか分からない表現も英語での言い方を学べて良かったです。</li> <li>・英語に苦手意識があるため嫌でしたが、授業の組立てが良かったので楽しくできました。</li> </ul>
--	--

総合診療科(感染症診察基本手技) n=38

1. 予習はしてきましたか？

十分に	5 (13.16 %)
少し	23 (60.53 %)
全然	9 (23.68 %)

2. 本日の自分は 100 点満点中何点？

100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	0	平均
10	8	12	4	0	1	0	0	0	0	1	83.61
(26.32 %)	(21.05 %)	(31.58 %)	(10.53 %)		(2.63 %)					(2.63 %)	

3. 本実習の感想は？

非常に良い	25 (65.79 %)
良い	11 (28.95 %)
悪い	1 (2.63 %)
非常に悪い	0

4. 難しかったですか？

はい	7 (18.42 %)
いいえ	30 (78.95 %)

5. 4で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・CBT で習った所を忘れていて、答えるのが難しかったです。</li> <li>・PPE のやり方をきちんと覚えきれてなかったと感じました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔不潔が難しかった。</li> <li>・発表の形式など、難しく感じました。</li> </ul>
--	--

6. 本日の実習でできたこと、分かったことは？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な手技を復習できました。</li> <li>・ワクチン接種の方法を学びました。</li> <li>・診断バイアスを防止することの難しさがわかった。</li> <li>・疾患を一発で当てに行くことも重要だということを知りました。</li> <li>・敗血症についての知識が深まりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PPE の脱ぐときに不潔にならないこと。注意せずに適当にやってしまったらすぐに汚染面に触ってしまいそうだった。</li> <li>・キャップやガウンは内側をもって脱ぐ！</li> <li>・PPE や鼻咽頭ぬぐいでの、細かな注意点。</li> <li>・筋肉注射の安全な手技について復習する事ができた。</li> <li>・2 回生、3 回生の頃に学んだことを徐々に復習できた。</li> </ul>
--	--

7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン接種を迅速にできるようになることです。</li> <li>・バイアスがかかりやすいところを理解し、バイアスによらずに診断までできるようになりたいと思いました。</li> <li>・基本的な医療手技をスムーズにできる医師になります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑別疾患をたくさんあげられるようになる。</li> <li>・手技を一つ一つ丁寧にし、定着させる。</li> <li>・ナチュラルに適切な言葉を話せるようにしたいです。</li> <li>・筋肉注射の注意点など復習。</li> </ul>
--	---

8. 実習後の感染症に対する興味は？

非常に増	7 (18.42 %)
増	29 (76.32 %)
減	1 (2.63 %)
非常に減	0

9. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

とても	28 (73.68 %)
まあまあ	9 (23.68 %)
あまり	0
全然	0

10. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。(多数)</li> </ul>
--

11. 本実習に対する感想・フリーコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても勉強になりました。</li> <li>・基本的な感染症手技を、わかりやすく復習できました。</li> <li>・PPE の確認になりました。ありがとうございました。</li> <li>・非常にわかりやすく良い復習になりました。</li> <li>・大事な手技を学べました。ありがとうございました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は講義していただきありがとうございました。先生の授業は質疑応答が多くて楽しかったです。</li> <li>・わかりやすい授業ありがとうございました。</li> <li>・わかりやすく、楽しい講義をしていただき、ありがとうございました。</li> </ul>
--	--